

発行者
三藤亜紀子

ネイティブアメリカン・ペンドラトン

ペンドラルトン市について

アメリカ合衆国のオレゴン州最大の都市であるポートランド市から東へ約350 km離れた場所にペンドラルトン市がある。ペンドラルトン市にはウマティラインディアン居住区部族連合がある。先住民であるカイユース族、ウマティラ族、ワラワラ族からなっている。ペンドラルトン市もポートランド市もハツクルベリーという果物が有名である。ウマティラインディアン居住区部族連合ではハツクルベリーを採る祭典があるのだとホストファミリーは言っていた。そのことから、昔からハツクルベリーはとても大切にされていたのではないか。また、昔、先住民は暮らす地域を指定されていた。それはとても狭い場所であり、もともと先住民の方々がもっていた土地を取り戻すために、ホストファミリーの方は儲けたお金を自分のために使わず、土地を取り戻すために使っているというところに驚いた。

踊りについて



右にある写真のように専用の衣装を着て、踊るといふものを見た。この写真では映っていないが、中心部で複数の大人が太鼓のような楽器を演奏しながら歌を歌い、それに合わせて周りで男子、女子、それぞれ分かれて踊っていた。女子の踊りには、「ゆっくり」「少し速い」「速い」という速度が違う同じ踊りをそれぞれ3人に分かれて踊っていた。踊り自体難しく、音楽に

合わせながら踊るのが難しかった。このような、男女分かれて踊る踊りもあつたが、男女一人ずつのペアになつて踊る、フォークダンスのような踊りもあつた。

ティピーについて

ティピーとは円錐型のテントであり、アメリカのインディアン部族が住んでいたテントだ。左の写真のような形をしている。円錐のトップは、普段、布で覆われていないが覆うことも可能だそうだ。布に描かれている柄は様々だった。キャンプ地にはティピーが多くあつた。入り口は布で隠されている。ティピーの中には、火をつける場所もあつた。



ネイティブアメリカンの博物館



右の写真はネイティブアメリカンについての博物館の写真だ。ここには昔のネイティブアメリカンのことについて多く書かれていた。大きな昔の子どものたちの写真が壁一面に貼ってあつたところもあつた。そこでネイティブアメリカンについて多くの説明をして頂いた。そこで学んだことは中学校の教科書に載ってないことも多くあり、学校では学ばなかったネイティブアメリカンが困っていたこと、大変だったことについて学んだ。もっと多くのネイティブアメリカンについて知り、これから自分にできることは何かについて考える第一歩となつた。